

# 振甫中生徒会 NEWS

## 「JICA 中部訪問」ボリビアでの活動について(2024. 7. 26)

生徒会と有志の生徒11名で「JICA 中部なごや地球ひろば」を訪問しました。国際協力の概要や JICA が行っている事業についての説明を聞いた後、施設見学をしました。

施設見学では、1階の体験ゾーン、2階の展示ゾーンで SDGs について学ぶとともに、屋上庭園も見学することで、環境に配慮した工夫を知ることができました。また、3階の居住スペースも1部屋見学しました。居住スペースには、滞在者が交流するための広いスペースがあり、そこには様々な国の風習や、文化にまつわるものが展示されており、異文化交流を行う憩いの場になっていました。昼食にウガンダ給食を体験した後は、海外協力隊の隊員として、ボリビアにあるコロニア・オキナワで生活支援の活動をしていた方から体験談を聞きました。コロニア・オキナワについてはもちろん、海外での生活や海外で働くことの大変さや魅力などをたくさん知ることができました。

<活動の様子>



1階体験ゾーン



居住スペースの1室

屋上庭園での学習風景



ウガンダ給食



2階展示ゾーン

<生徒の感想より>

- ・ SDGs 項目において、開発途上国が達成できているものが先進国では達成できていないことが多く、たとえ、開発途上国が先進国になったとしても、SDGs をすべて達成できるわけではないと感じた。だからこそ、先進国も持続可能な開発に向けて努力しなければいけないのだと感じさせられた。おそらく2030年までにSDGs 17目標すべてを達成することはできないだろう。しかし、達成できないからと言って、達成に向けての努力をしないのはよくない。目標に向かって、地球のために行動することは不可欠だと思う。国際協力は、私が将来大人になっても必要とされている。将来、国際協力に携わる職業に就いていなくても、国際協力を行いたいと心から思う。
- ・ JICA 中部で展示されていた10kgのバケツを実際に持ってみて、これを子供や女性が毎日6kmも歩いて運んでいると考えたら、すごく悲しくなった。

将来は少しでも世界のためになる仕事に就きたいと思った。以前は、国際協力と聞いても、あまりピンとこなかったが、JICA に行ったことで、世界の問題を身近に感じる事ができた。